

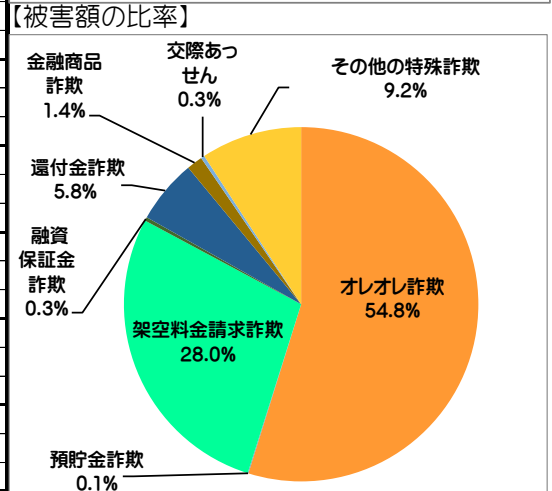
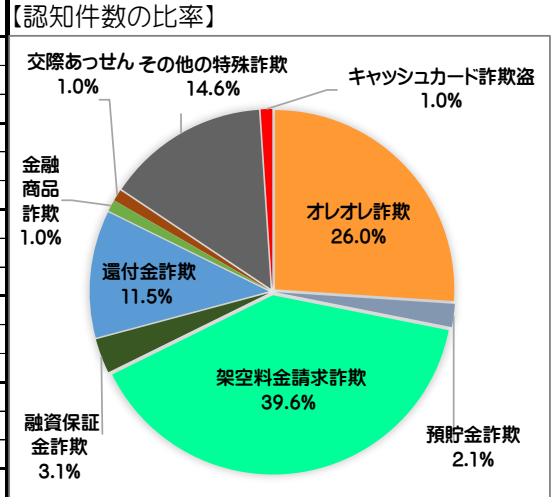
特殊詐欺対策ニュース

令和6年9月
警察本部生活安全企画課

特殊詐欺認知状況（令和6年8月末） ※暫定値

1 特殊詐欺の認知件数・被害額の状況

		認知件数	被害額
特殊詐欺合計	R6	96	345,225,766
	R5	105	255,432,343
	増減数	-9	89,793,423
オレオレ詐欺	R6	25	189,211,600
	R5	25	62,381,000
	増減数	0	126,830,600
預貯金詐欺	R6	2	249,000
	R5	6	13,044,168
	増減数	-4	-12,795,168
架空料金請求詐欺	R6	38	96,498,438
	R5	32	126,012,500
	増減数	6	-29,514,062
融資保証金詐欺	R6	3	1,151,264
	R5	5	13,092,548
	増減数	-2	-11,941,284
還付金詐欺	R6	11	20,160,122
	R5	23	21,076,627
	増減数	-12	-916,505
金融商品詐欺	R6	1	4,999,000
	R5	1	400,000
	増減数	0	4,599,000
ギャンブル詐欺	R6	0	0
	R5	0	0
	増減数	0	0
交際あっせん詐欺	R6	1	1,145,000
	R5	1	20,000
	増減数	0	1,125,000
その他の特殊詐欺	R6	14	31,811,342
	R5	2	4,061,500
	増減数	12	27,749,842
キャッシュカード詐欺盗	R6	1	0
	R5	10	15,344,000
	増減数	-9	-15,344,000



2 8月中に認知した主な事件

1 警察官をかたるオレオレ詐欺

被害者の携帯電話に、警視庁をかたる男から「詐欺容疑で逮捕した男のガサをしたところあなた名義のキャッシュカードを発見した。あなたには資金洗浄容疑で資産凍結と逮捕状が出ている。」「福島で取り調べを受けてほしい。」などと電話があり、続けて福島県警をかたる男に電話口が変わり「こちらのSNSのIDを教えるので以後、SNSのビデオ通話で取り調べを行う。」等と言われSNSで友達登録をした。

友達登録後、福島県警をかたる男とのテレビ電話で身分証を呈示されて警察官だと信じた被害者は、氏名等の個人情報及び口座残高などを聞かれるがままに教え、更に、検事をかたる男から「あなたが事件に関与しているのか調べるために口座残高を指定する口座に振り込んでほしい。確認できれば明日返金される。」と言われ、指示されるがままに現金を振込み、約1,100万円をだまし取られた。

2 高額当選金名目の架空料金請求詐欺

被害者が、SNS上の副業斡旋広告をクリックしたところ、他のSNSアカウントに移りし「副業助成金7億円が当選しました。」と表示されたため、貼り付けられていたURLにアクセスしたところ、個人情報の入力求められ、個人情報を入力した。

入力後、「ミスが続いておりますので、一時的にお客様のアカウントを利用停止とさせていただきます。」「ご本人確認がとれるとアカウントの利用停止は解除されます。」「本人確認のためには電子マネーカードを購入してポイントを追加してください。」などと表示され、表示に従って複数回の電子マネーを購入し、合計約14万円をだまし取られた。

○令和6年8月末における特殊詐欺の認知件数は96件(R5年8月末:105件)で前年に比べ9件減少し、被害金額は約3億4,500万円(R5年7月末:約2億5,500万円)で前年に比べ約9,000万円増加しました。

○特殊詐欺被害者の年齢層は、高齢者(65歳以上)の割合が約39.6%(令和5年:約77.1%、令和4年:約83.3%)となっており、昨年や一昨年よりも高齢者の方の被害が減少し、現役世代(65歳未満)の方が多くなっています。

○8月中、「警察官」や「総務省」をかたるオレオレ詐欺の被害が多く確認されています。電話で「あなた名義の口座が犯罪に使用されている。」「あなた名義のクレジットカードで違法な薬を購入している」などの理由で逮捕回避や裁判回避名目で金銭を要求するといった手口となります。警察官がお金を要求することはありませんので、見知らぬ者からお金を要求されたときは、一人で悩まずに必ず家族や警察に相談してください。